



未利用バイオマスを牛・豚の餌に！
納豆分離装置の開発

技術分野分類 1602：持続可能システム

技術キーワード バイオマス利活用

産業分類 E-26：生産用機械器具製造業

内 容	概 要	未利用納豆を牛や豚の飼料として利用するため、納豆を容器から効率良く分離する方法を考案した。その技術を用いた納豆分離装置を、企業と共に開発した。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	少量の水の添加と振動で、粘性のある納豆を容器から効率よく分離できる。その技術を基に開発した納豆分離装置は、納豆をパックごと載せると、自動で、開封、フィルム・調味料の除去、納豆と容器の分離・回収ができる。納豆を容器から自動で分離・回収する装置は他にない。
	本技術の 有用性	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用納豆を自動で効率的に回収できる。 ・回収した納豆には容器の破片などの異物混入がない。 ・納豆菌が生存したまま回収でき、餌として有効利用ができる。 (未利用バイオマス資源の有効利用の促進に寄与) ・回収容器もリサイクルが可能(容器リサイクルの促進)
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品		牛・豚用の飼料、容器素材（スチロール）の再利用
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	森川 豊、伊藤雅子 あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 室長、環境材料室 主任研究員
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 総合技術支援・人材育成 担当 0566-45-5640 / 0566-22-8033 info@aichi-inst.jp

■知的財産 特許第 6210876 号「納豆分離方法および納豆回収装置」

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2014 年 10 月 6 日

修正日 2024 年 12 月 20 日